

令和元年度 全国学力学習状況調査の結果のお知らせ

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動へのご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度4月に実施しました表記の調査について、文部科学省から結果がまいりましたので下記のとおり分析・考察等をするとともに、本校のこれからの学力向上の取り組みについても発信をいたします。今後も学校と家庭で連携をして児童の学力を高めていく節目となれば幸いに存じます。

記

1 問題の説明

昨年度は、理科も調査対象でしたが、今年度は、国語と算数の2教科が対象となりました。意識調査は、例年通り行われました。また、この数年、教科毎に、A問題とB問題に分かれていました。A問題とは、基礎的・基本的な知識、技能の力を問う調査です。B問題は、基礎的・基本的な知識や技能を生かして解く力、いわゆる対応力、問題解決能力を問う調査です。

今回は、「A問題」「B問題」に分けるのではなく、各教科の中に、基礎基本の能力を問う問題、問題解決能力を問う問題の両方を取り入れて、結果の中にそれぞれの能力が反映される形式となりました。

2 結果の概要と分析

【国語】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		64	65	63.8
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	71.3	73.1	72.3
	書くこと	52.9	55.4	54.5
	読むこと	78.8	83.0	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.5	55.7	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	49.6	57.2	57.6
	話す・聞く能力	71.3	73.1	72.3
	書く能力	52.9	55.4	54.5
	読む能力	78.8	83.0	81.7
	言語についての知識・理解・技能	57.5	55.7	53.5
問題形式	選択式	77.0	76.7	75.1
	短答式	52.2	51.1	48.7
	記述式	49.6	57.2	57.6

【算数】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		68	70	66.6
学習指導要領 の領域	数と計算	64.8	66.7	63.2
	量と測定	57.1	57.5	52.9
	図形	76.9	79.0	76.7
	数量関係	71.3	72.2	68.3
評価の観点	数学的な考え方	63.6	65.5	62.2
	数量や図形についての技能	77.8	77.2	73.6
	数量や図形についての知識・理解	67.5	72.7	70.1
問題形式	選択式	74.8	78.1	75.7
	短答式	77.5	76.4	72.8
	記述式	48.4	51.5	47.4

※ グレーで塗った数値は確かな成果が現れた項目。斜めのゴシック体の数値は今後の課題となる項目。

今回、国語、算数ともに、全国平均を上回ることができました。項目によっては都の平均を上回りました。特に算数は、全項目ほぼ万遍なく、国の平均を上回っています。

これは本校が数年にわたり研究や学習補充教室の積み重ねにより、基礎基本の力を向上させたことの成果であると考えています。

特に、国語の「言語についての知識・理解・技能」、算数の「数量や図形についての技能」については、都の平均も上回っています。また、本校の課題であった「数学的な考え方」については、国の平均を1ポイント以上上回り都の平均にも近づいています。これは、一昨年度から学力アクションの取り組みを始めたことの結果でもであると分析できます。

一方で、国語の「関心・意欲・態度」「書く能力」「記述式」の項目に課題が見られます。これは、いずれも文章を書く問題での正答率の低さによるものです。しかも一般的な作文力ではありません。「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」など、新学習指導要領で必要とされる思考力・表現力であり、対話的な深い学びを基にした書く能力が求められる問題です。算数の記述式の問題においても、「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」という問題の正答率が国の平均を大きく下回りました。

次に、「児童質問紙(意識調査)」から参考となる数値結果をお伝えします。

※意識調査の数値と学力調査の数値は比例をしています。以下は、学力(=生きる力)を身に付けるために必要な項目となります

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

いずれの項目も、都や国の数値を上回りました。本校のめざす「すべての児童を我が子のように思う」「すべての児童を学級の宝とする」理念が浸透してきている成果の一端と考えています。また、いじめ防止対策、特に、「予防的な視点に基づくアンケートの実施」「北西小で絶対使ってはならない言葉の徹底」の結果でもあると考えています。

- 将来の夢や目標をもっていますか
- 学校のきまりを守っていますか
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか

上記3つの項目は、若干であります都や国の平均を下回りました。いずれもこれからの社会を生き抜いていくために必要な力の土台となるものです。これらの能力をどのように育てていくかについては、後述いたします。

- 授業の時間以外での読書量、図書館などの利用時間はどれくらいですか
- 読書は好きですか
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

いずれの項目も、都や国の平均を上回りました。読書は言語能力や豊かな心の育成のベースとなる学習であり嬉しい結果です。算数は、学力補充ものではなく、教員の自作問題や学力選手権など、教師も児童も学習に前向きに取り組むための取り組みを始めました。その成果の現れでもと考えています。また、本校の児童は、外国語活動での学び意欲が非常に高いとALTや外国語アドバイザーの先生から評価いただいている裏付けとなる結果も現れました。今後も上記項目の数値を高めていくよう努めます。

- 学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
- 学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- 総合的な学習の時間では、自分で立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習に取り組んでいますか

都や国の平均を下回った項目です。話し合う活動が十分ではないことが如実に現れています。これに着目して授業改善をしていくことが本校の学力向上策のポイントでもあると前向きに捉え、今後の学力向上に向けた取り組み(後述)において具体策を説明いたします。

- 朝食を毎日食べていますか
- 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしますか
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

この項目も都や国の平均を下回りました。全てがご家庭の協力が欠かせない項目、学校と家庭とが連携していく必要のある項目です。特に、朝食を摂ること、家庭でお子さんとコミュニケーションを取ることは北西小全ての保護者の努力目標として取り組んでいただくようお願いいたします。

3 学力向上に向けた取り組み

以下の5つの項目に分けて、学力向上に向けた取り組みを総合的に進めてまいります。

(1) 学力アクションの取り組み

【アクション1】 国問題の趣旨を通常の学習指導に生かす

B問題は、問題解決能力を問われるものです。既習の知識や技能をもとに、出会ったことのない課題を解決する学習形態はこれからの日本の潮流となります。文部科学省から配布される国調査の解説資料の考え方を先生たちの指導書でも取り上げられるようにして、ふだんの授業により問題解決的な視点を盛り込みます。

【アクション2】 先生たちによる自作問題の作成

北西小の実態に合った課題解決方問題を先生たち自身で作成をします。それはやがて、「子どもたちがポジティブにアクティブに」学ぶ環境にもつながると考えます。

【アクション3】 定期的にクイズ選手権を開催する

「北西ギネス」は、各成績上位者を掲示することで新記録が続出しました。その学力バージョンです。年間2回程度「クイズ選手権」の開催をします。「勉強で表彰されたい。勉強するって楽しい」という「楽しい学力向上」の雰囲気が醸成されることを目指します。今後は、国語や総合的な学習の時間など教科領域を広げたり、チームで解く問題を取り入れたりなど国の教育の方向性に沿った改善をしていきます。

【アクション4】 学力診断テストを実施する

学習が終了した単元や以前の学年の内容を復習する家庭学習などを課しても、児童が積極的に復習を行う明確な動機としては不十分な面がありました。そこで、昨年度は6年生、今年度は5・6年生、来年度は4・5・6年生を対象として長期休み前と後に、小学1年生～現在までの既習事項全てを出題範囲としたテストを自校で作成し、実施しています。

(2) 各教科における指導方法の工夫

本校の課題である、「文章を書く問題」、「記述式問題」を解く力を身に付けるためには、長文に慣れる必要があります。国語では、読書やブックトーク等の時間を日常的に確保していくことが大切です。また、作文を書く機会には、目的や条件を最初に必ずおさえる習慣を意識した授業の工夫を行います。自分の考えとその理由や根拠を意識して書く際には、具体性や妥当性を重視させます。

算数では、長文問題に対して、自分の思考を助けるメモやアンダーライン、図などを活用して解いていく態度の育成が重要です。普段の授業の中で、書いた(描いた)ことでわかりやすさが増した例を積極的に取り上げることで、多くの児童がメリットに気付き、有用性を自身がはっきりと認識できるようにしていきます。さらに、自分の考えを説明したり、相手の考え方を理解したりする力を高めるため、毎時間解き方を交流し合う時間を設定していく必要があります。今後も、新学習要領に向けて「主体的・対話的な授業」を目指し、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る授業や指導の工夫に取り組んでいきます。

(3) 生活指導での指導法の工夫について

生活指導は、教師が足並みを揃えて「やるべきことはやる」と毅然と指導することが重要です。しかし、その方法のみでは、「先生に叱られるからやらない」という意識を助長し、本来の意味での「生きる力」に結びつきません。意識調査で「学校のきまりを守っていますか」の項目が低かった結果も、本校のこれまでの生活指導を見直すきっかけをいただいたと前向きに捉える必要があります。

具体的には、「児童が望ましい生活について自ら考え判断し責任をもつ機会を増やす」です。生活目標の指導に当たり、例えば、廊下中央に標示板を置き、実際に歩く場面で「どうして廊下の右側を歩くのか」を考えさせたり、「どうして教室で静かに給食準備をしなければならないか」を集会で教室に浮遊するゴミやダニウイルスのスライドを見せながら、衛生や健康面から正しい行動を考えさせたり取り組みを始めています。今後も、自ら考えそれを行動に結び付けられる指導の工夫に取り組んでいきます。

(4) 特別活動での指導法の工夫について

話し合う活動の機会を増やしていく必要があることは、データからも歴然です。本校は、学級会の「話し合い活動」を全ての学級で、年間10回を基準として行っています。今後は、この内容をさらに充実させていくとともに、全教育活動を通して対話的な学びができるよう取り組んでまいります。

(5) 特別支援教育の推進について

今まで特別な支援を要する児童は、「学力に課題がある」という固定観念がありました。本校は、才能開発の視点のもと発達凸に着目し個々の能力を伸ばします。「ギフト教育」の先進校である「翔和学園」に学び「通常の学級における特別支援教育を生かした授業作り」に学校をあげて取り組みます。あわせて、ティーチングアシスタント制度など、個に応じた支援のための特別支援教育の組織をさらに充実させます。

令和元年度 全国学力学習状況調査の結果(速報値)のお知らせ

保護者、地域の皆さまにおかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解ご協力ご支援を賜りまして感謝申し上げます。

さて、先月末に表記の件について文部科学省からプレス発表が行われたことは周知の所です。それを受けて本校の結果も届きましたので下記の通り速報値としてお知らせいたします。

今回、国語、算数ともに、全国平均を上回ることができました。項目によっては都の平均を上回りました。

これは本校が数年にわたり研究や学習補充教室の積み重ねにより、基礎基本の力を向上させたこと、一昨年度から学力アクションの取り組みを始めたことの成果の一端であると考えています。

8月中に結果を詳細に分析し、成果と課題を明らかにし、改善策を「授業改善推進プラン」に反映し、2学期以降の学習に生かします。保護者、地域の皆さまには、特別号として9月末をめどに発信をまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 結果の速報値

【国語】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		64	65	63.8
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	71.3	73.1	72.3
	書くこと	52.9	55.4	54.5
	読むこと	78.8	83.0	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.5	55.7	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	49.6	57.2	57.6
	話す・聞く能力	71.3	73.1	72.3
	書く能力	52.9	55.4	54.5
	読む能力	78.8	83.0	81.7
	言語についての知識・理解・技能	57.5	55.7	53.5
問題形式	選択式	77.0	76.7	75.1
	短答式	52.2	51.1	48.7
	記述式	49.6	57.2	57.6

【算数】

分類	区分	平均正答率(%)		
		北町西小	東京都	全国
全体		68	70	66.6
学習指導要領 の領域	数と計算	64.8	66.7	63.2
	量と測定	57.1	57.5	52.9
	図形	76.9	79.0	76.7
	数量関係	71.3	72.2	68.3
評価の観点	数学的な考え方	63.6	65.5	62.2
	数量や図形についての技能	77.8	77.2	73.6
	数量や図形についての知識・理解	67.5	72.7	70.1
問題形式	選択式	74.8	78.1	75.7
	短答式	77.5	76.4	72.8
	記述式	48.4	51.5	47.4

2 その他 このお知らせは、ホームページでの掲載のみといたします。